

令和7年 1月29日

本市における不登校の状況及び対策等について

豊見城市教育委員会

《不登校の定義》

不登校は「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しない、あるいはしたくともできない状況にあるため年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」と定義されている。

◆不登校の認識；文部科学省

不登校は、取り巻く環境によってはどの児童生徒にも起こり得るものとして捉え、不登校というだけで問題行動であると受け取られないよう配慮し、児童生徒の最善の利益を最優先に支援を行うことが重要である。

支援に際しては、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要があります。また、児童生徒によっては、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益、社会的自立へのリスクが存在することに留意が必要である。

参考；不登校児童生徒への支援の手引き；沖縄県教育庁義務教育課

《対策の視点》

○不登校の未然防止 ○不登校児童生徒の学びの保障 ○不登校児童生徒の社会的自立

1 本市の不登校の現状 ※資料参照

令和5年度市内の不登校児童生徒について、小学校133人、中学校207人、合わせて340名となっている。1000人当たりの数値で全国、県と比較すると、小学校では、全国21.4人、県32.7人、市25.3人。中学校では、全国67.1人、県73.9人、市85.8人となっており、令和4年度から令和5年度にかけ急激に増加傾向にある。

不登校の要因については、最も多いのは小中学校ともに「無気力・不安」、次いで「学業不振」、「生活リズムの乱れ」、「親子の関わり」となっている。

不登校の要因は多岐にわたる為、一律な対応で改善が難しいのが現状となっている。

2 現状の対策と今後の対策

(1) これまでの取り組み

- ①全小学校へ登校支援員の配置（各校1人、計8人）
- ②中学校校区へスクールソーシャルワーカーの配置（中学校区に1人、計3人）
- ③3中学校へ校内自立支援室支援員もしくは学習支援補助員の配置（各校1人、計3人）
- ④全中学校へこころの教室相談員の配置（各校1人、計4人）
- ⑤学校に登校できていない児童生徒を対象に、市適応指導教室「とよむ教室」における支援

- ⑥QU テストを年2回実施し学級への満足度を測定しいじめ不登校の未然防止に活用
- ⑦「不登校児童生徒の出席取り扱い及び学習評価に関する指針；豊見城市教育委員会」を踏まえ、特別な事情により、不登校及びフリースクール等に通う児童生徒の出席扱いについて、学びの保障の観点から出席扱いできるものについて市内小中学校共通認識で取り扱うよう学校と共有
- ⑧管理職研修会（校内自立支援室の運用について）
- ⑨教育事務所と連携した「魅力ある学校づくり」を推進
※「児童生徒質問紙」等の結果から課題と対応策をあげ、「魅力ある学校づくり」に取り組む
- ⑩不登校要因調査を実施し、詳細分析及び効果的支援策の立案・実施

(2) 次年度の新たな取り組み

- ①小学校への「校内支援教室」の設置及び、支援員の配置 ※資料参照
- ②「不登校対策支援員」教育委員会内に配置し、オンライン対応を含めた支援
- ③教職員対象に、成果を上げている自治体也専門家による「不登校対策研修会」及び「困り感を抱える児童生徒への支援の在り方の研修」の実施
- ④現在2回実施している「QU テスト」のうちの1回を「ハイパーQU」に変更し、教職員向け活用研修会を実施し不登校要因の分析に努め未然防止を図る。
※ハイパーQU は、個人のソーシャルスキルも判定可能
- ⑤不登校児童生徒の保護者・家庭支援（個別相談対応、講演会、等）
- ⑥教育委員会内に不登校相談窓口の設置
- ⑦不登校要因調査を定期に実施し、詳細分析及び効果的支援策の立案・実施

3 市長部局との連携協力事項

- (1) 全庁体制による、「不登校対策プロジェクト会議」への参加
- (2) 市庁舎内の活用可能会議室の提供（教育委員会配置の「不登校対策支援員（室）」）
- (3) 市適応指導教室「とよむ教室」の拡充に向けての活用可能施設の提供
- (4) 関係部署との連携協力体制の構築

【関係部署】（案）

- ・生涯学習振興課 ⇒家庭教育
- ・子育て支援課、障がい長寿課 ⇒不登校の原因となる家庭環境の支援
- ・財政課 ⇒不登校施策の財政措置
- ・人事課 ⇒不登校施策の人的措置
- ・学校施設課 ⇒不登校施策の施設整備
- ・各部署 ⇒とよむ教室移転、および庁舎内施設の検討
- ・学校教育課 ⇒不登校支援策の立案・実施及び情報提供

4 今後の対策に必要な予算等

- ・小学校「校内支援教室」設置に係る、備品・消耗品費等
- ・教育委員会配置の不登校対策支援員
- ・

【参考資料】

《各種支援員の主な職務内容》

No.	【支援員・施設名称】／主な職務
①	【登校支援員】 ※各小学校へ1名配置 計8名配置 不登校及び不登校気味の児童及びその保護者に対し、適切な学習指導や相談の援助を通して学校生活への適応を図り学校復帰の支援を行う。 (1) 登校することができない児童に対し、家庭へ出向き登校支援を行う。 (2) 登校できない児童の保護者に対し、支援を行う。 (3) その他学校の必要に応じて、教育相談に関する諸活動を支援する。 (4) 必要に応じて、関係機関と連携した対応を行う。
②	【スクールソーシャルワーカー】 ※各中学校区へ1名 計3名配置 いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待等の生徒指導上の課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけ支援を行う。
③	【校内自立支援室支援員・学習支援補助員】 ※各中学校へ1名 計3名配置 学校における別室指導を要する生徒に対し、心のよりどころとなる居場所を提供すると共に、生徒の状況に応じた教科指導を行う教員を補助し、生徒が夢や希望を育むことができる個別支援の充実を図る。
④	【こころの教室相談員】 ※各中学校へ1名 計4名配置 生徒が悩み等を気軽に相談し、ストレス等を和らげることのできる第三者的な存在となり得る者を生徒の身近に配置し、生徒がこころのゆとりを持てるよう支援を行う。
⑤	【市適応指導教室「とよむ教室」】 ※室長1名、学習支援補助員2名配置 豊見城市適応指導教室「とよむ教室」に在籍する児童、生徒の学校復帰や進路指導の充実を図るため、児童、生徒の学習指導、体験活動、相談活動等を補助する。

— 資料 —

(H30～R5) 不登校の推移

市内不登校の推移

小 学 校									
年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	復帰	実数
H30	2	2	3	5	9	10	31	5	26
R1	5	5	8	17	7	15	57	16	41
R2	2	8	6	7	14	19	56	9	47
R3	3	3	12	15	10	27	70	9	61
R4	6	7	13	20	25	16	87	8	79
R5	13	16	18	22	28	36	133	23	110

中 学 校						
年度	1年	2年	3年	合計	復帰	実数
H30	24	22	29	75	19	56
R1	27	30	28	85	45	40
R2	30	33	33	96	49	47
R3	32	36	49	117	39	78
R4	38	63	51	152	30	122
R5	57	76	74	207	57	150

小中学校	全国			沖縄			市		
	総数	不登校	1000人 当たり	総数	不登校	1000人 当たり	総数	不登校	1000人 当たり
H30	9,730,373	164,528	16.9 人	149,453	3,125	20.9 人	7,296	106	14.5 人
R1	9,643,935	181,272	18.8 人	149,932	3,406	22.7 人	7,411	142	19.2 人
R2	9,578,674	196,127	20.5 人	150,681	3,663	24.3 人	7,507	152	20.2 人
R3	9,529,152	244,940	25.7 人	151,058	4,435	29.4 人	7,586	187	24.7 人
R4	9,511,660	299,048	31.4 人	151,138	5,762	38.1 人	7,678	239	31.1 人
R5	9,321,243	346,482	37.2 人	150,956	7,013	46.5 人	7,664	340	44.4 人

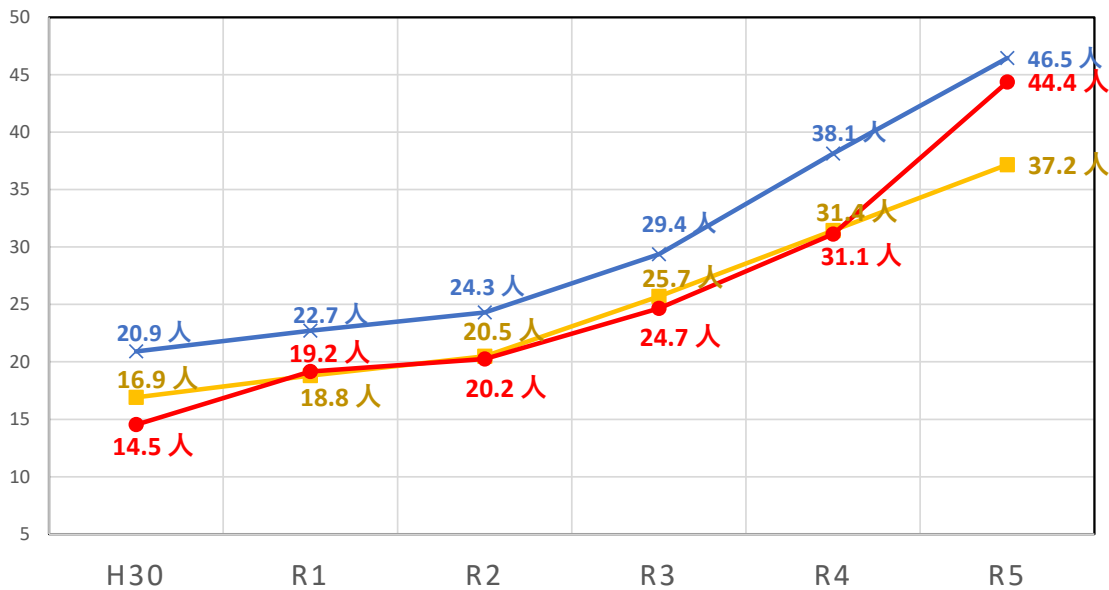
小学校 のみ	全国			沖縄			市		
	総数	不登校	1000人 当たり	総数	不登校	1000人 当たり	総数	不登校	1000人 当たり
H30	6,451,187	44,841	7.0 人	101,279	1,107	10.9 人	5,120	31	6.1 人
R1	6,395,842	53,350	8.3 人	101,550	1,262	12.4 人	5,215	57	10.9 人
R2	6,333,716	63,350	10.0 人	101,918	1,564	15.3 人	5,275	56	10.6 人
R3	6,262,256	81,498	13.0 人	101,342	1,903	18.8 人	5,276	70	13.3 人
R4	6,196,688	105,112	17.0 人	101,242	2,567	25.4 人	5,317	87	16.4 人
R5	6,100,280	130,370	21.4 人	100,472	3,284	32.7 人	5,251	133	25.3 人

中学校 のみ	全国			沖縄			市		
	総数	不登校	1000人 当たり	総数	不登校	1000人 当たり	総数	不登校	1000人 当たり
H30	3,279,186	119,687	36.5 人	48,174	2,018	41.9 人	2,176	75	34.5 人
R1	3,248,093	127,922	39.4 人	48,382	2,144	44.3 人	2,196	85	38.7 人
R2	3,244,958	132,777	40.9 人	48,763	2,099	43.0 人	2,232	96	43.0 人
R3	3,266,896	163,442	50.0 人	49,716	2,532	50.9 人	2,310	117	50.6 人
R4	3,245,395	193,936	59.8 人	49,896	3,195	64.0 人	2,361	152	64.4 人
R5	3,220,963	216,112	67.1 人	50,484	3,729	73.9 人	2,413	207	85.8 人

不登校の推移（小中学校）

※千人当たりの割合で比較

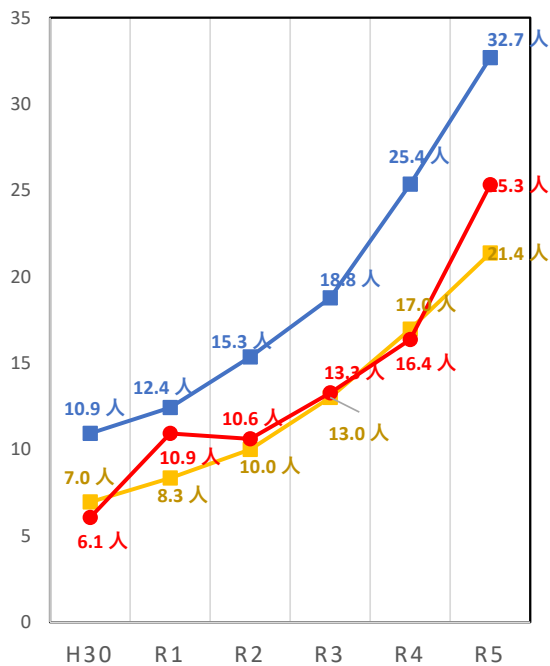
沖縄県 全国 豊見城市



不登校の推移（小学校）

※千人当たりの割合で比較

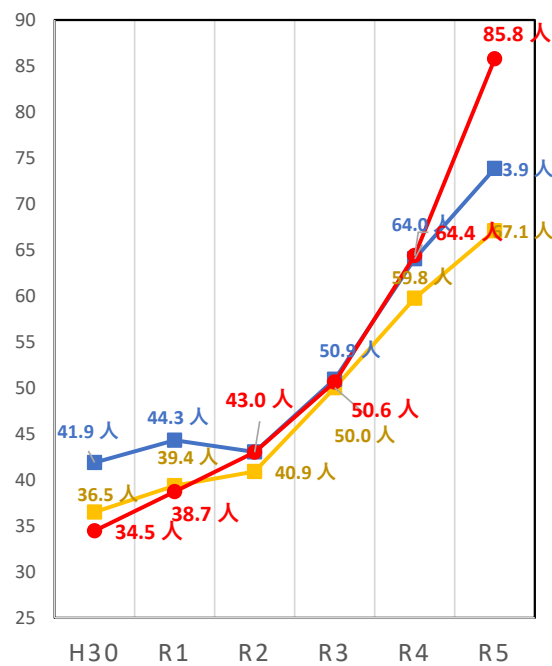
沖縄県 全国 豊見城市



不登校の推移（中学校）

※千人当たりの割合で比較

沖縄県 全国 豊見城市



(H30～R5) 不登校の推移(内訳)

平成30年度(2018)

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	復帰	実数
上田小					2	3	5		5
長嶺小						2	2		2
座安小				1	1	1	3		3
豊見城小	1		1		1	1	4		4
伊良波小			1		1	2	4		4
とよみ小		1			2	1	4	4	
豊崎小	1	1	1	1	1		5		5
ゆたか小				3	1		4	1	3
合 計	2	2	3	5	9	10	31	5	26

年度	1年	2年	3年	合計	復帰	実数
豊見城中	14	10	9	33	8	25
長嶺中	3	4	8	15	5	10
伊良波中	7	8	12	27	6	21
合 計	24	22	29	75	19	56

H30	児童生徒 在籍数	1000人 当たり	復帰率
小学校	5,120	6.1	16.1%
中学校	2,176	34.5	25.3%

令和元年度(2019)

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	復帰	実数
上田小	1		2	2		3	8	1	7
長嶺小			1	3			4	3	1
座安小		1	1	2		2	6	1	5
豊見城小	3	2			1	1	7		7
伊良波小			1	1		1	3		3
とよみ小			1	4	1	3	9	8	1
豊崎小	1	1	2	2	3	2	11	2	9
ゆたか小		1		3	2	3	9	1	8
合 計	5	5	8	17	7	15	57	16	41

年度	1年	2年	3年	合計	復帰	実数
豊見城中	7	16	10	33	27	6
長嶺中	13	5	7	25	9	16
伊良波中	7	9	11	27	9	18
合 計	27	30	28	85	45	40

R1	児童生徒 在籍数	1000人 当たり	復帰率
小学校	5,215	10.9	28.1%
中学校	2,196	38.7	52.9%

令和2年度(2020)

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	復帰	実数
上田小		1		2	2	7	12		12
長嶺小		1		3	1	2	7	2	5
座安小			1		2	3	6	3	3
豊見城小	2	3	4		2		11		11
伊良波小					1		1	1	
とよみ小					2	3	5		5
豊崎小		3		2	2	2	9		9
ゆたか小			1		2	2	5	3	2
合 計	2	8	6	7	14	19	56	9	47

年度	1年	2年	3年	合計	復帰	実数
豊見城中	9	9	12	30	15	15
長嶺中	6	12	8	26	18	8
伊良波中	15	12	13	40	16	24
合 計	30	33	33	96	49	47

R2	児童生徒 在籍数	1000人 当たり	復帰率
小学校	5,275	10.6	16.1%
中学校	2,232	43.0	51.0%

(H30～R5) 不登校の推移(内訳)

令和3年度(2021)

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	復帰	実数
上田小			1			1	2		2
長嶺小			1		3	4	8		8
座安小				1	1	3	5	2	3
豊見城小	2	1	5	6	1	6	21	1	20
伊良波小			1	2	2	1	6	1	5
とよみ小		2		2	2	5	11	4	7
豊崎小			3	3	1	3	10	1	9
ゆたか小	1		1	1		4	7		7
合 計	3	3	12	15	10	27	70	9	61

年度	1年	2年	3年	合計	復帰	実数
豊見城中	15	16	22	53	3	50
長嶺中	8	5	11	24	15	9
伊良波中	9	15	16	40	21	19
合 計	32	36	49	117	39	78

R3	児童生徒 在籍数	1000人 当たり	復帰率
小学校	5,276	13.3	12.9%
中学校	2,310	50.6	33.3%

令和4年度(2022)

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	復帰	実数
上田小	1	1	5	4	1	4	16		16
長嶺小				2	1	2	5	3	2
座安小	1		1	1	1	3	7	5	2
豊見城小	1	3	3	4	8		19		19
伊良波小				1	2	1	4		4
とよみ小			3		4	3	10		10
豊崎小		2		4	4	3	13		13
ゆたか小	3	1	1	4	4		13		13
合 計	6	7	13	20	25	16	87	8	79

年度	1年	2年	3年	合計	復帰	実数
豊見城中	19	25	27	71	1	70
長嶺中	8	19	6	33	18	15
伊良波中	11	19	18	48	11	37
合 計	38	63	51	152	30	122

R4	児童生徒 在籍数	1000人 当たり	復帰率
小学校	5,317	16.4	9.2%
中学校	2,361	64.4	19.7%

令和5年度(2023)

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	復帰	実数
上田小	5	3	5	6	5	6	30	2	28
長嶺小					2	1	3		3
座安小	1	1		1	1	2	6	3	3
豊見城小	3	5	1	5	4	8	26		26
伊良波小		2		4	2	5	13	3	10
とよみ小		1	2	1	4	3	11	1	10
豊崎小	3		7	1	7	7	25	1	24
ゆたか小	1	4	3	4	3	4	19	13	6
合 計	13	16	18	22	28	36	133	23	110

年度	1年	2年	3年	合計	復帰	実数
豊見城中	20	34	28	82		82
長嶺中	14	14	23	51	33	18
伊良波中	23	28	23	74	24	50
合 計	57	76	74	207	57	150

R5	児童生徒 在籍数	1000人 当たり	復帰率
小学校	5,251	25.3	17.3%
中学校	2,413	85.8	27.5%

不登校の要因（市）

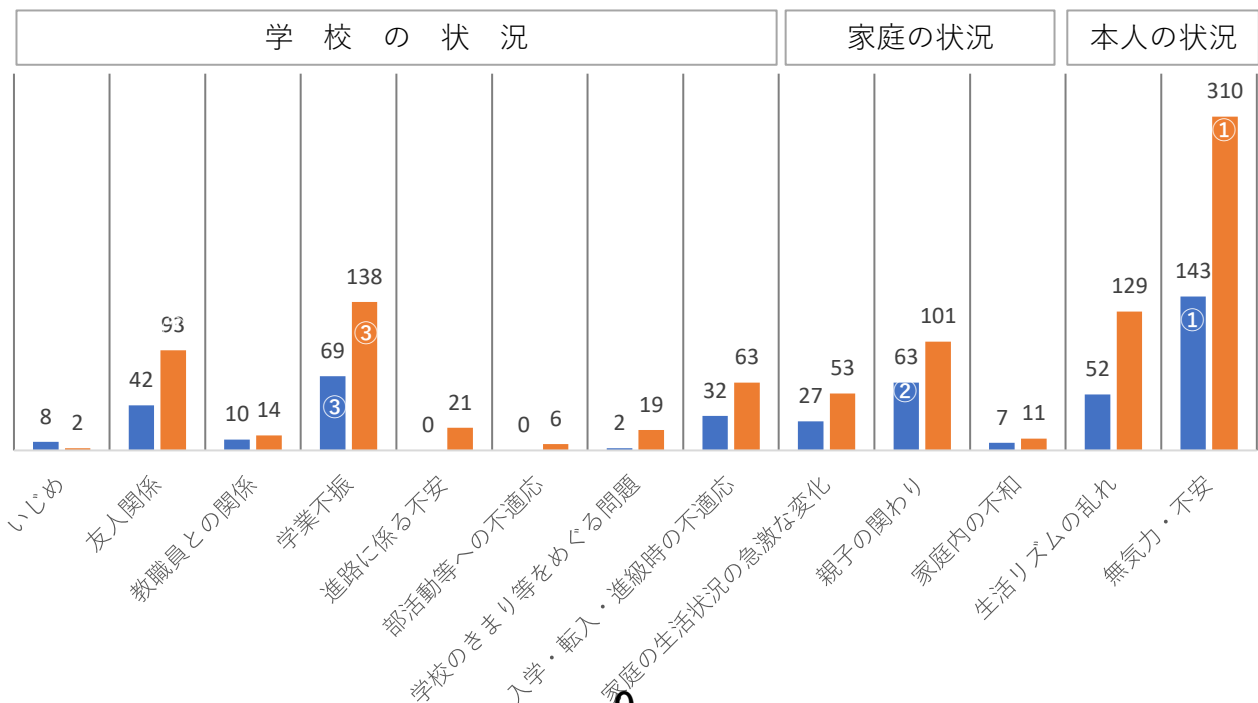
過去5年間の集計（平成30年度～令和5年度）

小学校	学校の状況								家庭の状況			本人の状況	
	いじめ	友人関係	教職員との関係	学業不振	進路に係る不安	部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学・転入・進級時の不適応	家庭の生活状況の急激な変化	親子の関わり	家庭内の不和	生活リズムの乱れ	無気力・不安
合 計	8	42	10	69			2	32	27	63	7	52	143

中学校	学校の状況								家庭の状況			本人の状況	
	いじめ	友人関係	教職員との関係	学業不振	進路に係る不安	部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学・転入・進級時の不適応	家庭の生活状況の急激な変化	親子の関わり	家庭内の不和	生活リズムの乱れ	無気力・不安
合 計	2	93	14	138	21	6	19	63	53	101	11	129	310

不登校の要因

■ 小学校 ■ 中学校





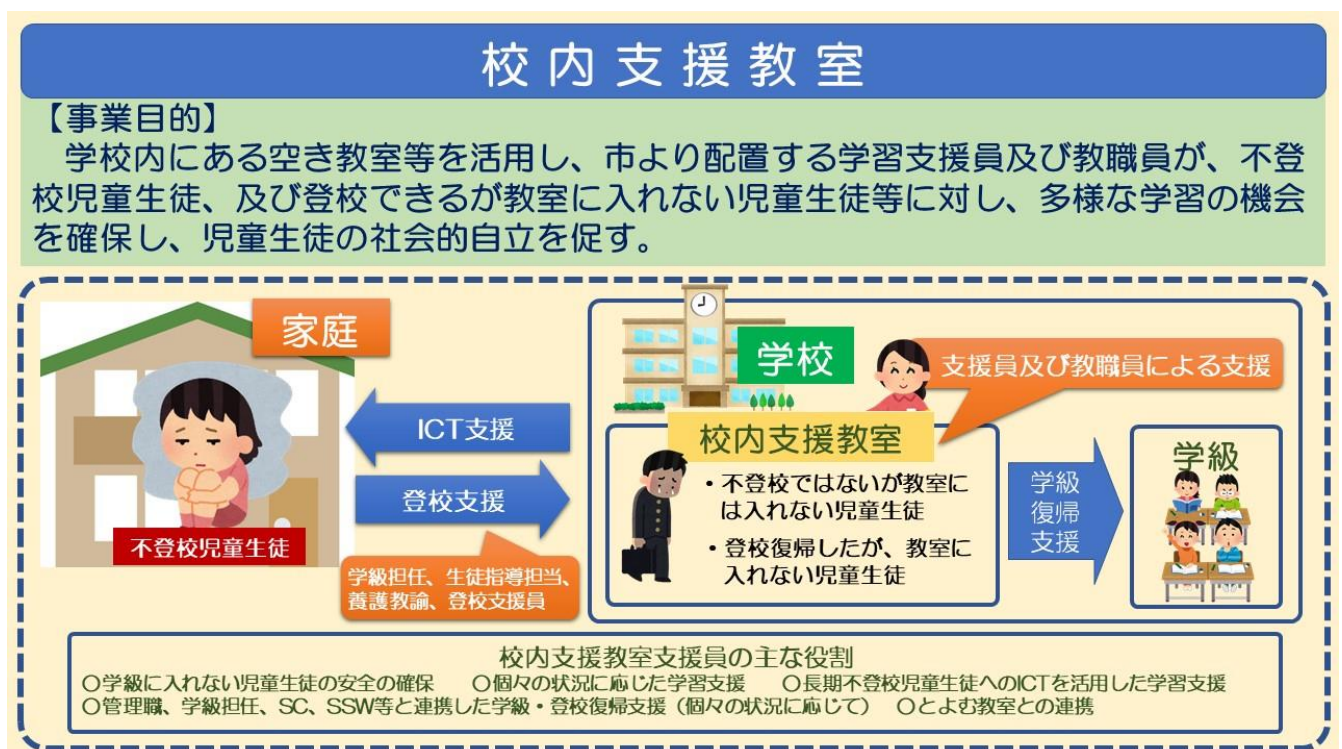
1 事業目的

本事業は、市内小学校における不登校児童生徒や、教室に入れない児童生徒等への校内支援体制を確立するため校内支援教室を設置し、児童生徒の学びの保障及び社会的自立を促すことを目的とする。

2 支援員の職務内容

- ① 校内支援教室を利用する児童生徒個々の状況に応じた学習支援（学級担任等との連携）
- ② 在宅不登校児童生徒へのICTを活用した学習支援（学級担任等との連携）
- ③ 登校支援（電話連絡等）
- ④ 個々の状況に応じた学級復帰支援（管理職、学級担任、生徒指導担当、教育相談担当、養護教諭、特別支援教育コーディネーター、スクールカウンセラー等との連携）
- ⑤ 支援対象児童生徒及び保護者の状況に応じ、管理職、スクールソーシャルワーカー、市町村教育委員会、市町村福祉担当課等との情報共有（困窮世帯、ヤングケアラー等に係る保護者支援等）
- ⑥ 配置校の中学校区内の学校との連携（情報連携等）
- ⑦ 市適応指導教室「とよむ教室」との連携
- ⑧ その他、教育相談に係る研修への参加等、校内支援教室の運営に必要と認められる業務

3 事業イメージ



【不登校の取り扱い】

場所	学校		校外		自宅
区分	登校		不登校		
出席の 取り扱い	(通っていれば) 出席扱い			学習の確認ができれば出席扱い	
支援 場所	学級	校内支援教室 自立支援教室	とよむ教室	フリースクール等	自宅
支 援 内 容	不登校にならないよう予防策 ・登校支援員 ・QUテスト ・SSW・SC・こころの教室 (必要に応じ)	個に応じた学習支援策 ・登校支援員 ・学力向上推進員 ・自立支援員・学習支援員 ・QUテスト ・SSW・SC・こころの教室 (必要に応じ)	個に応じた学習支援策 社会性を身につける学 びの提供 ・とよむ教室	学校と連携した学習状況確認	学びの保障策 ・オンライン支援